

2014
今と生きる

郡山のスクールカウンセラー 灘山 仁美さん 45

米国ワシントンDCで二十三日に開かれるオバマ大統領主催の「共働き・一人親家庭に関するホワイトハウス・サミット」に郡山市のスクールカウンセラー灘山（なだやま）仁美さん（45）が参加する。米政府が日本から招待する五人に選ばれた。東日本大震災、東京電力福島第一原発事故に伴う避難者や、子どもの放射線の影響に悩む保護者らに寄り添ってきた体験などを踏まえ、働く女性の立場で本県復興への思いを伝える。

共働き・一人親家庭支援 米「サミット」23日参加

働く女性の目線 復興へ思い届け

サミットへの招待は、今年四月に東京でオバマ大統領が安倍晋三首相と会談した際、女性の社会参加推進に向け発表され

※ 共働き・一人親家庭に関するホワイトハウス・サミット 23日、ホワイトハウス近くのホテルで開かれる。企業経営者、エコノミスト、労働組合のリーダー、政策立案者、女性の権利擁護団体、一般市民らが一堂に会する。共働き・一人親家庭を支援し、女性の社会参加を促す取り組みについて議論する。日本からの参加者は、翌24日から27日までは米国内で交流プログラムにも臨む予定。

大統領来日機に招待

た。キャロライン・ケネディ駐日米大使に打診された森雅子男女共同参画担当相（参院本県選挙区）が灘山さんを推薦し、米政府に認められた。他、灘山さんは郡山市出身に企業幹部やNPO、マスコミ関係の女性も選ば

い出した。こんなカウンセラーが身近にいてくれたら気持ちが悪くなれたかも。帰国後、子育てをしながら大学の通信課程で福祉心理学を学び、認定心理士の資格を取得した。

大を卒業した。英語が堪能で、企業の通訳として海外勤務を経験した。結婚後、平成二十年度に郡山市の小中学校のスクールカウンセラーとなり、現在はいわき市の学校も担当している。二十二年には福島民報の民報サロンの執筆をした。

ホワイトハウス・サミットに参加する灘山さん。働く女性としてスクールカウンセラーの活動を報告する。



約二十年前、米国で私立高の日本語教師をしていた時、現地でスクールのカウンセラーの活動に出会った。子どもの話に耳を傾け、悩みを解きほぐす姿に感動した。学校が嫌いだっただ昔の自分を